

受験
就職

ことばの常識 問題1849

土屋道雄編

日栄社

は し が き

本書は、単なる漢字練習帳とは異なり、現代の高校生や多くの若者が苦手とする「ことば」を使いこなす実力を養成する目的で編集したワーカブックです。

ここでは、

四字熟語	187語	難読語	442語
故事・成語	116語	同音異義語	238語
慣用句	195語	同訓異義語	238語
ことわざ	195語	誤りやすいことば	238語

――を取り上げ、それぞれいろいろな形式の問題を通じて正しい読み方、意味、書き方、使い方などが効率よく身につけられるよう工夫しています。

見開き二ページずつで構成し、右ページに問題を掲げ、すぐチェックできるよう左ページに解答と解説を示しました。解説は、できてもできなくても必ず読んで下さい。

本書によって学習すれば、ことばと漢字についての十分な実力がつき、日常生活はもとより、授業、受験、就職試験に大きな効果を發揮するものと確信しています。

〔 〕内に適当な漢字を入れて四字熟語をつくり、その読み方を示すとともにその意味を①②……の中から選べ。

- ① 悪戦苦()
② 意()投合()
③ 心伝心()
④ 一言半()
⑤ 一()千里()
⑥ 一心()乱()
⑦ 千山千()

- ① ながめがよく廣々としているさま。
② 言葉によらず気持ちが通じ合うこと。
③ さまざまの経験をして世の中の〔 〕とに通じ、する
がしこいこと。
④ 苦しいたかいをすること。苦しみながら努力す
ること。
⑤ 心を一つのことにしてほかのことにみだされ
ないこと。
⑥ ほんのわずかな短い言葉。
⑦ たがいに気持ちがぴったり合うこと。



答

- ① [闘] あくせんくとう^④
② [氣] いきとう^④
③ [以] いしんでんしん^④
④ [句] いちごんはんく^④
⑤ [望] いちぼうせんり^④
⑥ [不] いっしんふらん^④
⑦ [海] うみせんやません^④
⑧ [業] じごうじとく^④

- ① [快] かいとうらんま^④

- ② [田] がでんいんすい^④
③ [髪] ききいつぱつ^④
④ [暗] ぎしんあんき^④
⑤ [空] くうぜんぜつ^④
⑥ [舟] ごえつどうしゅう^④
⑦ [霧] ごりむちゅう^④
⑧ [業] じごうじとく^④

- ① [悪戦苦闘]^{はづく} 闘の訓は「たたかう」。^レ四苦^{八苦。}

- ② [意気投合]^{はつきう} 投の訓は「なげる」だが、「あう」という意味もある。

- ③ [以心伝心]^{いしんぢん} 言葉では伝えられない禅宗における悟りの極意を直接「心を以て(心から)心に伝える」とこと。

- ④ [一言半句]^{いっげんはんじゅく} 一言一句・片言隻句。

解説

- ① 【悪戦苦闘】闘の訓は「たたかう」。^レ四苦^{八苦。}

- ② 【意気投合】投の訓は「なげる」だが、「あう」という意味もある。

- ③ 【以心伝心】言葉では伝えられない禅宗における悟りの極意を直接「心を以て(心から)心に伝える」とこと。

- ④ 【一言半句】一言一句・片言隻句。

□① [] 刀乱麻() () ()

② 我()引水() () ()

③ 危機()前絶後() () ()

④ 疑心()鬼() () ()

⑤ []五里()中() () ()

⑥ 吳越同() () () ()

⑦ 万里() () () ()

⑧ 自()自得() () ()

① 前にも後にも例がないこと。

② もつれた物事をあざやかに処理すること。

③ 自分が行つた悪事の報いは自分の身に受けなければならぬこと。

④ 心に疑いをもつて見ると、何でもないことまであ

やしく思われるということ。

⑤ 非常にあぶないせとぎわ。

⑥ 事情がわからずどうしてよいかわからないこと。

⑦ 自分に都合がいいように考えたり行つたりするこ

と。

- ⑤ [一望千里] 望・里の訓は「のぞむ・さと」。
⑥ [一心不乱] 亂の訓は「みだす・みだれる」。^レ一意專心^{いちいせんしん。}
⑦ [海千山千] 海に千年、山に千年棲んだ蛇は竜になる
といふ伝説から。^レ千軍万馬^{せんぐんばんば}。
- ① [快刀乱麻]^{はやきまつま} 「快刀乱麻を断つ」の略で、よく切れる刀
でもつれた麻を断ち切ること。
② [我田引水]^{わくだひすい} 「我が田に水を引く」ということ。^レ自画^{じが}
自讀^{じよん}(贊)。
- ③ [危機一髪]^{きわいいつぱつ} 髮の毛一本ほどのわずかなところまで危
険がせまっていてこと。^レ間一髪^{かんいつぱつ}。
- ④ [疑心暗鬼]^{ぎしんあんき} 「疑心暗鬼を生ず」の略で、心にもしや鬼
が出るのではないかという疑いがあると、暗がりの中
にいもしない鬼を見たりするということ。単なる「疑
問」の意に用いるのは感心しない。
- ⑤ [空前絕後]^{くうぜんぜつご} 絶の訓は「たえる、たつ」。^レ前代未聞^{ぜんだいみもん。}
- ⑥ [吳越同舟]^{おきゃくどうしゅう} 中国の春秋時代、吳と越は仲が悪く、長
い間勝つたり負けたりの戦いを続けた、その吳と越が
同じ舟に乗りあわせることから。
- ⑦ [五里霧中]^{ごりゆちゅう} 五里におよぶ深い霧の中でまようことか
ら。^レ暗中摸索^{あんちゆうもくさく}(模索)。
- ⑧ [自業自得]^{じぎょうじとく} 業は前世の行いにより現世で受ける報い
のこと。^レ因果応報^{いんがおうぽう}・自縛自縛^{じじやくじやく}。

「 」内に適当な漢字を入れて四字熟語をつくり、その読み方を示すとともにその意味を①②……の中から選べ。

- | | | | | | | |
|----------------|---------------|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| ① 言語 [] 断 () | ② 自暴自 [] () | ③ [] 人十色 () | ④ 取 [] 選択 () | ⑤ 枝葉 [] 節 () | ⑥ 心 [] 一転 () | ⑦ 針小 [] 大 () |
| （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） |

①あることをきっかけにして気持ちを全く入れかえること。

②好み、考え、性格などは人によりまちまちだ。

③なげやりな態度をとること。

④主要でない部分。つまらない細かなこと。

⑤とんでもないこと。もつてのほか。

⑥小さなことを大げさに言うこと。

⑦良いもの、必要なものをえらびとり、悪いもの、不要なものをすること。

①男女がたがいにしたいあい愛しあうこと。
②遠い将来のことまで深く考え、はかりごとをめぐらすこと。

③大人物は大成するのに時間がかかる。

④どうしてものがれられないせっぱつまつた状況にあること。

⑤だれもがもつともだと認める道理・理由・根拠。

⑥新しく考え出し、よい方法を見つけること。

⑦まごころをもつてことにあたること。

⑧経験がゆたかで場なれしていること。

- | | | | | | | | |
|----------------|----------------|----------------|---------------|---------------|----------------|----------------|----------------|
| ① 深謀 [] 虑 () | ② 誠心誠意 [] () | ③ 絶 [] 絶命 () | ④ [] 軍万馬 () | ⑤ [] 意工夫 () | ⑥ 相思相愛 [] () | ⑦ 大 [] 晩成 () | ⑧ 大 [] 名分 () |
| （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） |

- | | | | | | | |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|-------------------|
| ①【道】ごんじどうだん () | ②【棄】じばうじき () | ③【十】じゅうにんといろ () | ④【捨】しゅしゃせんたく () | ⑤【末】しょうまつせつ () | ⑥【機】しんきいつてん () | ⑦【棒】しんしょうぱうだい () |
| （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） |
| ①【遠】しんぼうえんりょ () | ②【意】せいしんせい () | ③【体】ぜつたいぜつめい () | ④【千】せんぐんばんば () | ⑤【創】そういくふう () | ⑥【愛】そうちしあい () | ⑦【器】たいきばんせい () |
| （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） |
| ⑧【義】たいぎめいぶん () | ⑨【道断】ごんじどうだん () | ⑩【棄】じばうじき () | ⑪【十】じゅうにんといろ () | ⑫【捨】しゅしゃせんたく () | ⑬【末】しょうまつせつ () | ⑭【機】しんきいつてん () |
| （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） |

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|--------------------|---------------------------------|-----------------------|-------------------------------------|-----------------------|---|------------------------------------|--|--------------------------|----------------|-------------------------------|--|----------------------------------|---|
| ①【言語道断】もと仏教で、言葉では説明できない奥深い真理を言う。 | ②【自暴自棄】自ら身を暴ない、自ら身を棄てる」と。すてぱちになること。 | ③【十人十色】類多種多様・千差万別。 | ④【取捨選択】選には「えらぶ」という訓、択には同じ意味がある。 | ⑤【針小棒大】「針ほどに言う」ということ。 | ⑥【心機一転】機には「はたらき」という意味があり、心機は心のはたらき。 | ⑦【針小棒大】「針ほどに言う」ということ。 | ⑧【深謀遠慮】「深慮遠謀」とも言う。謀の訓は「はかる」慮には「おもんぱかる」という意味がある。 | ⑨【誠心誠意】誠の訓は「まこと」。意には「こころ」という意味がある。 | ⑩【絶体絶命】絶の訓は「たえる、たつ」だが、「きわまる」という意味もある。「絶対絶命」と書かぬこと。 | ⑪【千軍万馬】多くの兵士と多くの軍馬ということ。 | ⑫【海千山千】ひやくさんせん | ⑬【創意工夫】創には「はじめる、つくる」という意味がある。 | ⑭【相思相愛】相の訓は「あい」で、「たがい」という意味がある。「想思恋愛」と書かぬこと。 | ⑮【大器晩成】器の訓は「うつわ」。晩成はおそらくできあがること。 | ⑯【大義名分】大義は人がふみ行つべき最高の道義。名分は身分に応じてつくすべき本分。 |
| （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） |

解説

- ①【言語道断】もと仏教で、言葉では説明できない奥深い真理を言う。
- ②【自暴自棄】自ら身を暴ない、自ら身を棄てる」と。すてぱちになること。
- ③【十人十色】類多種多様・千差万別。
- ④【取捨選択】選には「えらぶ」という訓、択には同じ意味がある。

- 5 四字熟語